

I. 広東省

1. 反腐敗関連

- 28日、省紀律検査委員会は鄧偉根・江門市長を嚴重な紀律違反の疑いで調査中と発表（4月29日付『南方日報』）。
- 27日、鄭紅・省検察院党組織書記兼檢察長が黎明智・ベトナム社会主義共和国最高人民検察院檢察長一行と会談し、次のように述べた。経済のグローバル化や広東省の改革開放が急速に発展するにつれ、同省とベトナムの経済・貿易、人の往来も日増しに密接になり、省検察機関が同国の検察機関と協力する分野もますます拡大してきている。両地域の検察機関がいっそう交流を強化し、協力を深め、より大きな、かつより良い協力の成果が得られるよう心から望んでいる（4月29日付『南方日報』）。
- 27日～28日、省検察院が全省検察機関反汚職関連会議を開催し、鄭紅・省検察院党組織書記兼檢察長が出席するとともに講話を行なった。会議では全国検察機関職務犯罪調査・予防座談会の精神が伝達され、反汚職にかかる業務が直面している現況・任務について分析し、本年の業務の手配を進めた（4月29日付『南方日報』）。

2. 広東省で習近平・総書記の重要指示の精神を学習・貫徹

- 24日、省党委員会が第11期省党委員会第15回巡視状況報告会を開催し、胡春華・省党書記が出席するとともに講話を行い、次のように強調した。習近平・総書記の広東省に対する重要指示の精神を深く学習・貫徹し、「4つの堅持、3つの支え、2つの率先」という要求を適切に把握し、粘り強く続ける決心と強靱さをもって巡視・監督を常態化させ、長期的に効果を持たせるよう推進しなければならない。黃先耀・省紀律検査委員会書記、鄒銘・省組織部長、その他省党巡視指導グループメンバーも出席（4月25日付『南方日報』）。

3. 広東省とカナダ・アルバータ州が友好関係を締結

- 24日午後、馬興瑞・省長とレイチェル・ノトリー・アルバータ州知事が友好協定に署名。馬省長は特にクリーンエネルギー、環境技術等の分野における協力に力を入れ、科学技術の成果を実用化していくよう推し進め、イノベーションによる発展とグリーン発展を実現したいと伝えた。在広州カナダ総領事等も同席（4月25日付『南方日報』）。

4. 2017年著作権侵害・海賊版及び違法出版物の集中廃棄イベントを実施

- 24日午前、「ポルノ・違法出版物取締り」業務を担当する省・広州市指導グループが2017年著作権侵害・海賊版及び違法出版物の集中廃棄イベントを実施し、「4・26」世界知的財産権デーを迎えた。慎海雄・省宣伝部長兼同グループリーダーが出席するとともに講話を行なった（4月25日付『広州日報』）。

5. 工業・情報化部と広東省が協力枠組み協定に署名

- 25日午後、北京市で工業・情報化部と広東省が協力枠組み協定に署名した。胡春華・省党書記が署名式に立ち会い、苗圩・工業・情報化部長、馬興瑞・省長が同協定に署名するとともに挨拶を行なった。双方はスマート製造の発展、インターネットを利用した起業・イノベーション、情報化と工業化の融合等を共に推進し、広州市を国のモデル地区にすることで、全国にスマート製造やインターネットを利用した起業・イノベーションといった試みの経験や手本を提供していくことで合意（4月26日付『南方日報』）。

6. 胡春華・省党書記が在中国アイルランド大使と会談

- 26日午後、胡春華・省党書記が広州市で在中国アイルランド大使と会談し、次のように述べた。両地域は中国・アイルランドの友好関係という大きな枠組みの下、協力が可能なところを絶えず発掘し、経済・貿易、金融、イノベーション、文化、自貿区建設等の分野で協力を深め、企業が双方向に投資することを奨励・サポートし、ウィンウィンを実現していきたい（4月27日付『南方日報』）。

7. 佛山代表团がドイツ・バイエルン州のクーカ本社を訪問

- 現地時間26日、佛山代表团がドイツ・バイエルン州アウクスブルクにあるクーカ本社を訪問。ピーター・モーネン・クーカCFOと方洪波・美的集団董事長兼總裁が固い握手を交わし、美的集団（ミデアグループ）はクーカの筆頭株主として正式に迎え入れられた。邦敏・順徳区党書記は「我々は美的同様、クーカをサポートしていく」と述べた（4月27日付『南方日報』）。

8. 華南地域で規模最大の銅・硫黄選別工場が試運転開始

●26日午前、韶関市曲江区大宝山鉱山で、7,000トン級の銅・硫黄選別工場が試運転を開始した。同工場は華南地域で最先端かつ規模最大の銅・硫黄資源総合利用プロジェクトであり、稼働後の年間売上総額は10億元になる見込み。莫高義・韶関市党書記、許光・広晟資産経営有限公司党組織書記兼董事長（前茂名市党書記）等が稼働記念式典に出席（4月27日付『南方日報』、『広州日報』）。

9. 省党常務委員会議の開催

●28日、胡春華・省党書記主宰の上記会議が開催され、広東自貿区建設の進捗状況を聴取し、次のように強調した。習近平・総書記の広東省に対する重要指示の精神を深く学習・貫徹し、開放型経済という新たな体制を積極的に探り、自貿区を高水準の対外開放の窓であり、中枢とするよう構築していかなければならない（4月29日付『南方日報』）。

II. 広州市

1. 市党常務委員会議の開催

●24日、任学鋒・市党書記主宰の上記会議で、「習近平・総書記の重要指示の精神を学習・宣伝・貫徹するためのマスタープラン」について審議・採択し、次の業務を手配した。また、全国宣伝部長座談会の精神も伝達・学習し、それを貫徹・実行するための業務を手配。「省党委員会責任追及実施弁法」を貫徹・実行するための広州市党委員会の実施意見、「新たな情勢下における党校関連業務の強化と改善に関する市党委員会の実施意見」について審議し採択（4月25日付『広州日報』）。

2. 広州市代表団が2017広州「フォーチュン」グローバル・フォーラムのプロモーションを開催

●25日午前、蔡朝林・副市長率いる広州市代表団が東京で上記プロモーションを行い、世界トップ500にランクインしている日本企業、各業界のリーディング・カンパニー、広州市の企業、在日本中国大使館、「フォーチュン」誌、JETRO等の代表150人余りが出席。2016年の広州市と日本の貿易総額は約847億元（前年比12.5%増）、うち日本からの輸入額は約616億元（同11.8%増）、日本への輸出額は約228億元（同14.4%増）、同年末時点で同市へ投資している日本企業数は626社、外資利用額（実行ベース）は52.4億米ドルで、日本はすでに広州市の重要な投資・貿易パートナーとなっている（4月25日、26日付『広州日報』、『南方日報』）。

●27日、蔡朝林・副市長率いる広州市代表団がシンガポールで上記プロモーションを行い、世界トップ500にランクインしているシンガポール企業、同地に進出している「フォーチュン」世界トップ500企業、同地のリーディング・カンパニー、シンガポール政府、工商業界、科学技術・教育界等の代表、「フォーチュン」誌の代表等、250人余りが出席（4月28日付『広州日報』）。

3. 第1四半期の経済動向分析に関する会議の開催

●26日午前、市党委員会が特別会議を開催し、任学鋒・広州市党書記、温国輝・市長、陳建華・市人代主任が出席。広州市の第1四半期の新規登録企業数は同54.1%増、登録資本総額は3,000億元以上（同1.2倍）、登録資本金が10億元以上の企業数は同78.6%増となり、好調なスタートを切った（4月27日付『広州日報』）。

●28日午後、温国輝・市長主宰の会議が開催され、市党委員会が開いた特別会議の精神を伝達し、第1四半期の経済動向を分析し、次の業務について検討・手配。市統計局の報告によれば、第1四半期のGDP総額は約4,692億元（前年同期比8.2%増）、固定資産投資額が同10.3%増、社会消費小売額が同9%増、貿易総額が同31.9%増、サービス業の付加価値額が同9.6%増、一般公共予算収入額が同13.2%増だった（4月29日付『広州日報』）。

4. シスコ（広州）スマートシティ・プロジェクトが着工

●27日、胡春華・省党書記、馬興瑞・省長、袁宝成・副省長等が広州市番禺区・南沙区を訪れ、广汽ネット接続型エコカー産業パーク、シスコ（広州）スマートシティ、中国鉄道トンネル局全国本部、南沙明珠湾瀝島総合開発、広州市軌道交通18号線等の重要なプロジェクトの着工イベントに出席。本年、広州市ではインフラ建設・産業、民生事業等の分野で300余りのプロジェクト（約1,300億元）が計画されており、第1四半期には101のプロジェクトが着工する。また、任学鋒・市党書記、陳建華・市人代主任がシスコ・グローバルCEO一行と会談（4月28日付『南方日報』、『広州日報』）。

Ⅲ. 深圳市

1. 深圳市に米シリコンバレーのインキュベーター・プラットフォームが設立

●23日、Leaguer Group（力合科創集団）と米国インキュベーターのプラグ・アンド・プレイ（Plug and Play, PNP）が連携して深圳市に国際越境インキュベーター・プラットフォームを設立し、将来性のあるシリコンバレーのプロジェクト27件と同市の投資家・企業を橋渡しし、同市へのプロジェクト誘致を手助けしていくこととなった（4月24日付『深圳特区報』）。

2. 国内各地域との交流・プロモーション開催

●24日晚、王偉中・市党書記が曹淑敏・江西省鷹潭市党書記兼市長率いる視察団一行と会談。双方は習近平・総書記の一連の重要講話の精神と政治運営の新理念・新思想・新戦略を真剣に貫徹・実行し、両地域が電子情報産業の発展、スマートシティの建設等の分野で協力を強化し、全国的な発展という大局に貢献すべく努力していくことで合意（4月25日付『深圳特区報』）。

●24日、新疆生産建設兵団第8師団が建設した石河子市が深圳市で、シルクロード経済ベルト・イノベーション発展パイロット地区の発表会を開催し、石河市経済技術開発区、ハイテク産業開発区、企業誘致プロジェクトのプロモーションを行い、鄒躍斌・石河子市党書記が同市の状況について紹介（4月25日付『深圳特区報』）。

●25日晚、王偉中・市党書記が頼沢華・肇慶市党書記、陳旭東・肇慶市長率いる党・政府代表団一行と会談。双方は習近平・総書記の広東省に対する重要指示の精神を真剣に学習・貫徹し、両市が産業、交通、イノベーション等の分野における協力を更に強化し、全省の発展という大局により大きな貢献をしていくために努力していくことで合意（4月26日付『深圳特区報』）。

●28日、寧夏中寧県（クコの実の加工食品）、江西省吉安市青原区（観光）、湖南省株洲市（軌道交通、ゼネラル・アビエーション、自動車）がそれぞれ深圳市でプロモーションを開催（4月29日付『深圳特区報』）。

3. 第1四半期の経済動向分析会議の開催

●25日午後、王偉中・市党書記主宰の上記会議で、第1四半期の経済動向について検討・評価し、次の業務を手配。第1四半期のGDP総額は約4,584億元（前年同期比8.6%増）、各種伸び率については固定資産投資額が同24.3%増、社会消費小売額が同9.1%増、貿易総額が同7.4%増、一般公共予算収入額が同10.9%増で、国家統計局深圳調査隊が25日に発表したデータによれば、1人あたり可処分所得は約14,433元だった（4月26日、30日付『深圳特区報』、深圳市統計局）。

4. 市党常務委員会議の開催

●26日午後、王偉中・市党書記主宰の上記会議が開催され、全国・全省宣伝部長座談会の精神を伝達・貫徹し、深圳市がそれを貫徹・実行するための意見について検討（4月27日付『深圳特区報』）。

5. 王偉中・市党書記がハイテク企業を視察

●27日午前、王偉中・市党書記がテンセント・コンピューター・システム有限公司、ZTE株式有限公司、ファーウェイ技術有限公司等、ハイテク企業を視察し、企業運営、技術研究開発状況の詳細に対する理解を深め、企業が問題を解決するのに必要な党委員会・政府の支援・協力について聴取。王書記はイノベーションを第一に考え、各企業はイノベーションに力を入れ、核心となる競争力を絶えず向上させ、将来的な発展の機先を制すべく努力してほしいと述べた（4月28日付『深圳特区報』）。